

漢方 小児科 婦人科 内科 産科
浮田医院
だより



第 92 号
医療法人 せゝらぎ 会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2011年8月5日(金)
発行者：浮田 徹也

漢方薬のよさ(92)

妊娠中の蛋白尿



玄装法師

あじさいが美しく咲いています。私の書斎の前には、その他クレマチス、ゼラニウム、バラ、ユリ、桔梗、くちなし、おしろい花、朝顔などが置かれ、毎日私の目を楽しませてくれています。箱館山ゆり園で購入したカサブランカも美しく咲き始めました。

六月、日本東洋医学会総会が札幌で開催されました。前回は十年前の開催ですが、あつという間に十年が過ぎ去ったように感じられました。多くの医師と意見を交換したり、発表や講演を聞いたりして有意義な時間を過ごせました。また、三十数年來の友人にも暫くぶりに会うことができました。友人夫婦に案内されて、支笏湖、昭和新山を観光でき北海道の自然を満喫できました。今回の震災の影響で、北海道の観光地も大打撃を受け、開店休業のホテルや旅館がたくさん見られました。特に、中国や韓国からの観光客の激減の影響が大きいようでした。私たちが訪れた昭和新山には、

一台の中国からの観光バスが止まっているのみでした。また、近くの登別温泉の旅館でも宿泊客はまばらとのことでした。

七月は、大阪で日本東洋医学会役員会があり、皆から多くのことを学んできました。



北海道 洞爺湖

妊娠中の蛋白尿のお話です。

妊娠高血圧症候群は「妊娠二〇週以降、分娩後十二週までに高血圧が見られる場合、または高血圧に蛋白尿を伴う場合のいずれかで、且つこれらの症候が偶発合併症によらないものをいう」と定義されています。妊娠中の蛋白尿のみで妊娠高血圧症候群とは言えませんが、高血圧を伴えば重篤な状態(胎盤機能不全、胎児機能不全、早産、常位胎盤早期剥離、子癇HELLP症候群など)になることがあります。注意が必要です。また、同時に浮腫を伴うことも多く、健診で尿蛋白を指摘された場合、安静(睡眠、昼寝なども含む)や食事(塩分、糖分、カロリー制限など)に注意しながら、必要に応じて薬(漢方薬)、入院安静治療が必要になることがあります。では実例に移ります。

三十六歳女性、一五四cm、六十二kg(非妊時五十一kg)、妊娠三十二週蛋白尿(三〇〇mg)。胎児発育良好、血圧一二〇/八〇、下肢に浮腫口渇、便秘(三日に一度)。食事指導(塩分、カロリー制限)と生活指導(睡眠七時間、昼寝三〇分)、五苓散二日分処方。二週間後、下肢浮腫消失。四週間後蛋白尿(二〇〇mg)、四週間後、蛋白尿(一〇mg)。妊娠三十八週三日、三二〇g男児

分娩。産後も尿蛋白(一)。

三十五歳女性、一六〇cm、五八kg、**不妊症**(他院にて卵巣機能正常、I V Fを勧められた)、便秘(五日に一回)にて来院。顔、明るさにかけて、腹診にて腹部緊張中程度、乾燥皮膚、胸脇苦満、両側腹直筋緊張、臍上悸(十)、臍傍抵抗圧痛、S字状結腸部に抵抗。脈浮弦、遅。舌、淡暗紫紅色、乾燥、白苔、瘀斑、舌下静脈怒張。子宮やや腫大(子宮腺筋症の傾向、月経痛)、卵巣正常大、排卵(十)(月経周期十二日~十八日)。そこで、枳実、桂枝、茯苓、桃仁、牡丹皮、黄耆、人參、甘草、芍薬、地黄、柴胡、大黃を処方。二ヶ月後、月経痛消失、便通一日一回。八ヶ月後妊娠。胎児新音が確認できるまで漢方薬を継続。妊娠三八週五日、三二〇g男児を出産(経膈)。

三十七歳女性、**慢性肺炎**、時々心下部及び背中痛、疲労しやすい、下痢傾向。顔色両側頬紅潮。腹部は力がなく、胃内停水、胸脇苦満、心下痞、臍上悸。脈は沈細遅。そこで、六君子湯+柴胡桂枝湯+安中散を処方。一ヶ月後、心下部及び背中痛及び下痢軽減。二年後、一ヶ月に一度程度軽く心下及び背中に痛みがある。三年後、痛みは三ヶ月に一度に減少。五年後現在も服用中。

二十八歳女性、一六九cm、六〇kg、**夏ばて**、食欲不振、頭痛、軟便傾向、めまい、動悸を訴えて来院。顔はややくみ、両頬紅潮。腹は弾力性なく、心下痞硬、胸脇苦満、下腹部は軟弱。脈は浮数弱。舌は淡紅色、乾白黄苔。そこで、清暑益氣湯+五苓散を処方。二週間後、症状軽減。一ヶ月後、平常の食欲、便通に回復。廃薬。

次回は、老人と漢方IIです。

〔院長〕



不妊症

不妊症とは正常な性生活にも拘わらず3年以上子供のできない場合を言い、原因は女性側と男性側に分類され、甲状腺・副腎・肝臓・肺などの病気は大きな影響を及ぼします。また、女性では、子宮筋腫や子宮内膜症や子宮奇形、卵巣嚢腫、卵巣機能異常や脳下垂体や視床下部異常(排卵異常)、卵管閉塞(クラミジア感染症)等、男性では精子異常などがあります。西洋医学的診断や治療と共に東洋医学的な治療も有効です。



慢性肺炎

上腹部痛、腰背部痛(疼痛は持続性または間欠的)、吐き気・嘔吐、食欲不振、腹部膨満感などの症状があれば、慢性肺炎も疑って、診察を受けてください。血液検査、画像検査(超音波、CT)、内視鏡検査等が診断の手掛りになります。治療は節酒・禁酒、脂肪の多い食事(脂肪量を1日40g以下)や過食を避け、コーヒーや香辛料の制限、心身の安静、鎮痛薬や鎮痙薬、消化酵素薬服用などです。漢方薬が有効な場合も多く見られます。



夏ばて

もともと、胃腸(脾)の弱い方、イライラする方、上半身に比べ下半身の弱い方。暑さや湿気や冷房で、食欲、発汗、排尿、排便が不調になり、疲れ、だるさ、むくみ、意欲低下、不眠、微熱の続く方。ぜひ漢方薬をお試し下さい。体のだるさ、食欲不振、むくみなどの症状が取れてきます。その他の身体症状も改善し体力も強化されます。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイフ**の漢方薬と顆粒**タイフ**の漢方薬があります。
 - ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**20～30分**煮て作ります。
- 当院の**顆粒**タイフ**の漢方薬**は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)**で保管して下さい。
- 漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

予約－漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります(予約制、2回/月)。
午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時
3時～3時20分。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏・太乙膏・アガリクス・メシマコブ
- ・靈芝・AHCC・サメ軟骨・快步楽

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇電湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。
往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針 針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治に適しています。

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ(季節型、新型)、BCG三種混合(DPT)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、その他

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後0時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後4:30 (有料) (予約可)	母乳相談	母乳相談	母乳相談	母乳相談	母乳相談	予約～漢方外来 3時30分まで	—
午後3:00～午後4:30	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	4D外来	在宅訪問診療	4D外来	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
 ◇予約～漢方外来(2回/月 土曜日): 午後 時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、
 (2回/月 土曜日) 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
 ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方 (女性、男性 どなたでもお越し下さい)
 ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
 ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
 ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
 ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可
 ◇4D外来 掲示板を確認して申し込んでください。お母様のお腹の中で生活するお子様が見えます。

前期と中期-母親教室

8月6日(土) 9月10日(土) 13:30～15:30

後期 - 母親教室

8月13日(土)/27日(土) 9月7日(水)/17日(土) 10月5日(水)/15日(土) 13:30～15:30

母親教室のご案内

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約お願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。(申込ノートにお名前記入をお願いします。母親教室では「母と子のてびき」にそって、お話をすすめていきます。ご夫婦でのご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。参加時には「母と子のてびき」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



マタニティヨガ・ママヨガのご案内

当院では以前よりマタニティヨガを実施し多くの方から支持を得て参りましたが、産後のマザンからのご要望により、ママヨガ(産後ママ)を始めることになりました。慣れない子育て環境で少しでも「ママのリラクゼーション」を目的としています。お一人でもお子様とでも自由に参加して頂き、ママヨガでのママ友と情報を共有してリラックスした楽しい一時をお過ごしください。
 *日程は当院受付にてご案内いたしております。

マタニティヨガ土曜日開催のお知らせ・・・

これまでマタニティヨガは各週水曜日のみの開催でしたが土曜日を希望される方がとても多く、6月より月に一度の予定でマタニティヨガを始める事になりました。ふるってご参加ください。(各週水曜日も好評開催中)
 *日程は当院受付にてご案内いたしております。

片倉鶴陵(1750～1813)(江戸中期)

産科医療の開発者として、世界に先がけた数々の業績をあげ、その治療経験を著述することに命をかけた。「躰壽館」の多紀元恵から「広く文献を調べ、その宜しさを探る」(考証派)、春泰(前野良沢門人)から蘭方(オランダ医学)、賀川玄迪(京都)から賀川流産科を学び、『徴癰新書』『傷寒啓微』『産科発蒙』『屠蘇考』『静俟堂治驗』『青囊瑣探』『医学質験』などを著した。また、世界で最初に係蹄法(シュリンゲ)による鼻茸離断法を実施、日本で初めて産科鉗子の使用法を紹介した。

分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡しします。

4D外来(助産師)

助産師が4Dを実施します(およそ30分)。お腹の赤ちゃんの様子が映し出されます。ご希望の方は予約してください。
 木曜日と土曜日(掲示をご覧ください)

パソコンホームページ (<http://www.ukitagr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
 産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
 漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
 老人医療のページ(在宅療養の支援)
 健康のページ(健診、ブライダルチェック、予防接種)
 当院の施設案内、当院への交通(車、J R)

産後相談 母乳相談 (助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
 日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。
 初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。
 分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受付けています。妊娠23～25週(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています(妊娠16～22週)。
 詳細は受付でお聞きください。